

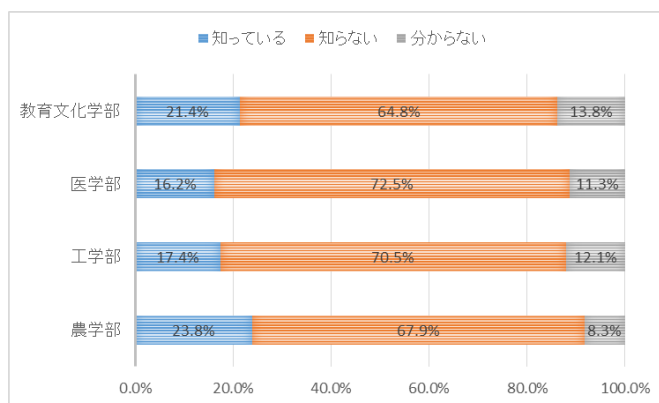
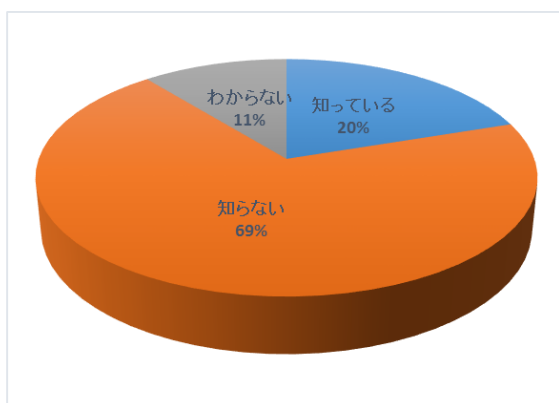
地（知）の拠点整備事業 文部科学省 統一指標アンケート調査結果

実施年月 平成 26 年 3 月 13 日（木）から 4 月 11 日（金）
 実施対象 全学生 3506 名（有効回答数 2818, 有効回答率 80.4%）
 全教員 516 名（有効回答数 381, 有効回答率 73.8%）
 全職員 713 名（有効回答数 427, 有効回答率 59.9%）
 自治体 宮崎県、日向市、串間市、西都市、えびの市、五ヶ瀬町

調査結果

学生アンケート

(1) みやだいCOC事業の認知度



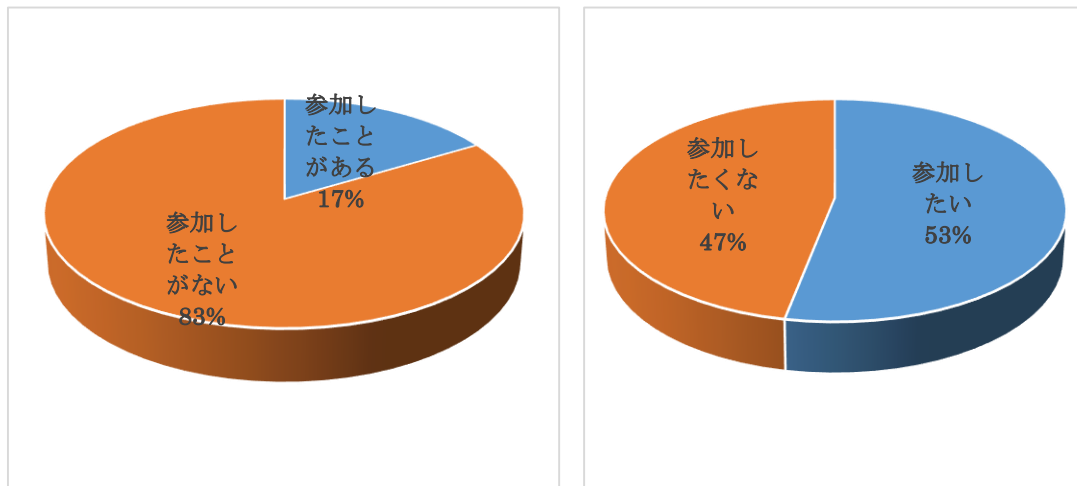
(2) みやだいCOC事業への参加意思

認知度別にみたCOC事業への参加意思

	参加したい	参加したくない	わからない	総数
知っている	45.6% (256)	9.8% (55)	44.7% (251)	100% (562)
知らない	23.8% (463)	19.1% (372)	57.1% (1113)	100% (1948)
わからない	15.3% (47)	7.1% (22)	77.6% (239)	100% (308)
総数	27.2% (766)	15.9% (449)	56.9% (1603)	100% (2818)

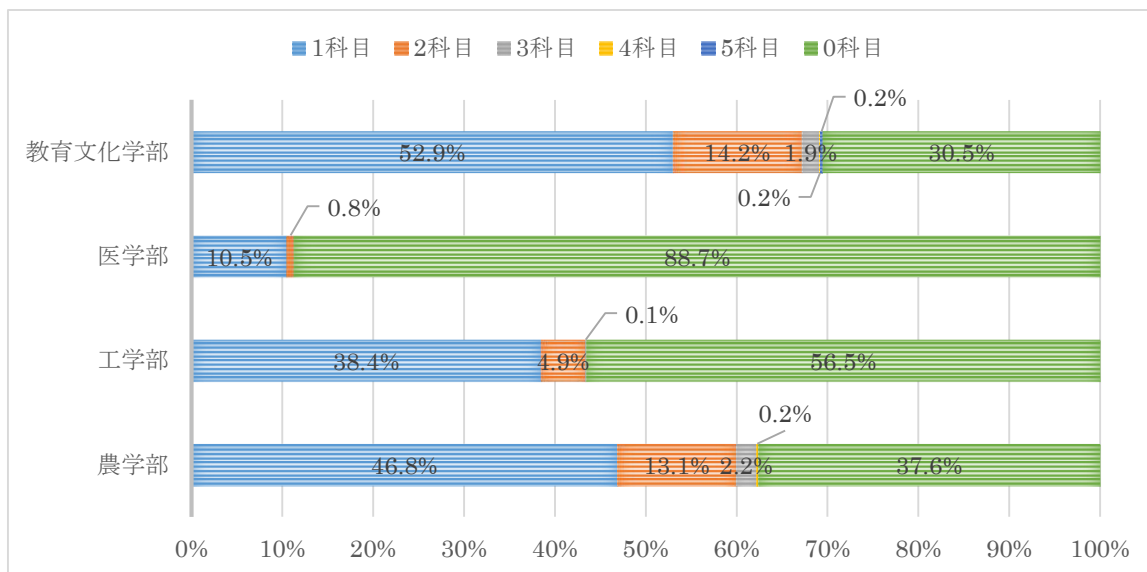
(3) 公募型卒論、チャレンジプログラム、ボランティアへの参加

公募型卒論、チャレンジプログラム、ボランティアへの参加経験、今後の意向



(4) 地域志向型共通教育科目の受講経験

学科別の受講経験



地域志向型共通教育科目受講経験者の理解度

	はい	いいえ	わからない	総数
1 科目	41.0% (436)	16.2% (172)	42.9% (456)	100% (1064)
2 科目	50.2% (117)	6.9% (16)	42.9% (100)	100% (233)
3 科目	80% (24)	10% (3)	10% (3)	100% (30)
4 科目	- (3)	- (0)	- (0)	- (3)
5 科目	- (1)	- (0)	- (0)	- (1)
総数	43.7% (581)	14.4% (191)	42.0% (559)	100% (1331)

(上記で「はい」と答えた学生)「その知識・理解・能力を今後どのように活かしていきたいと思うか」に対する回答(自由記述)

- ・地域の課題を知ることが出来たので、ボランティア活動などに積極的に参加したいと思う。
- ・これからもイベント等には、出来るだけ参加し、もっと知識や経験を重ねていき、将来いろんな人に伝えられたら良いと思う。
- ・出身地のことももっと知ってお互いの良さをどちらにも伝えたい。
- ・講義で得た知識を活かして、地域に必要なボランティア活動をしていきたい。
- ・街づくりのイベントに積極的に参加して、講義で学んだことを活かしていきたい。
- ・単純な知識としては役に立つが、地域のためになるか分からない。

(5) みやだいCOC事業への期待・要望等(自由記述)

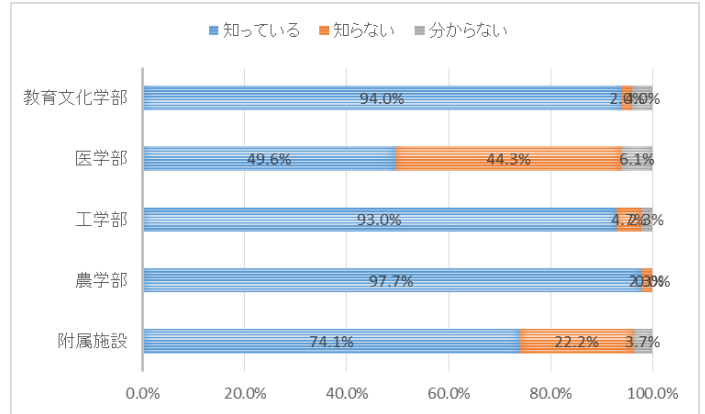
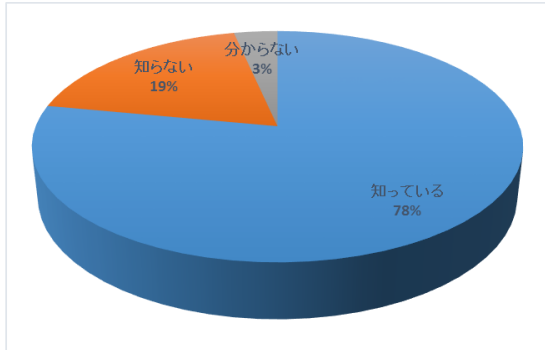
- ・もっと地域とのかかわりを周囲に開示してほしい。
- ・宮崎市内だけでなく県全体に力を入れてほしい。
- ・実際に活動を取り入れた講義内容を実践していただくことで、具体的なものになるのではないかと考えます。
- ・科目を増やしてほしい。
- ・この活動で宮崎県全体が盛り上がりしてほしい。
- ・学生ボランティアなどのサポート、連携
- ・学生主体となったイベント運営や地域の活性化につながる事業づくりに携われるような礎を作ってほしい。

など

教員アンケート

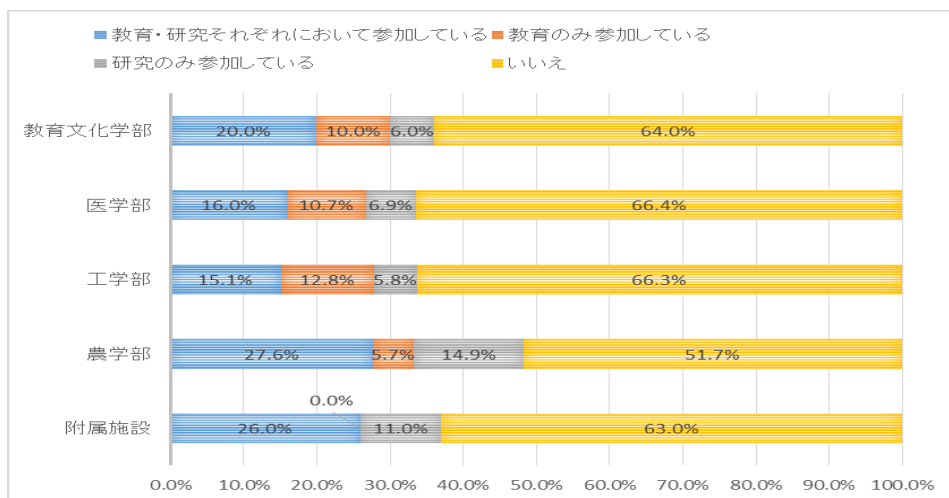
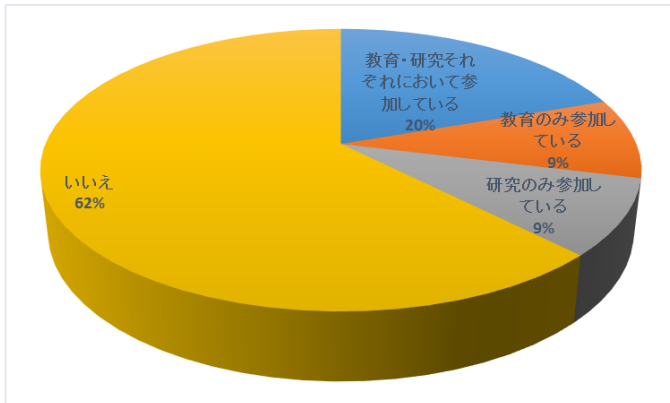
(1) みやだいCOC事業の認知度

教員のCOC事業に対する認知度

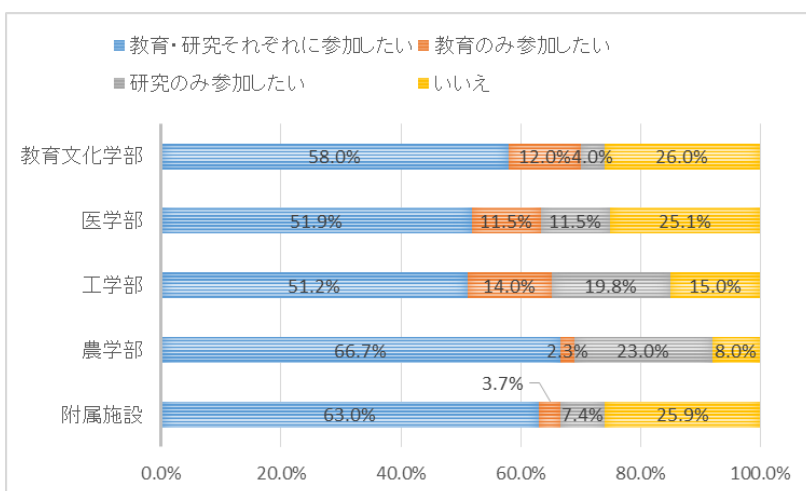
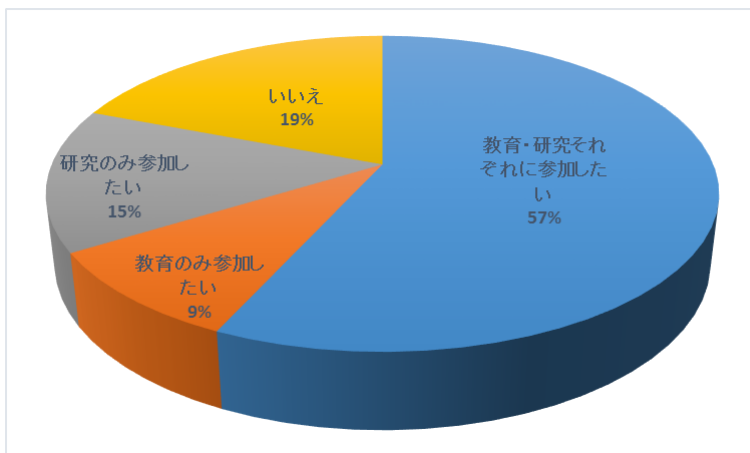


(2) 地域を志向した教育・研究への参加度

地域を思考した教育・研究への参加度

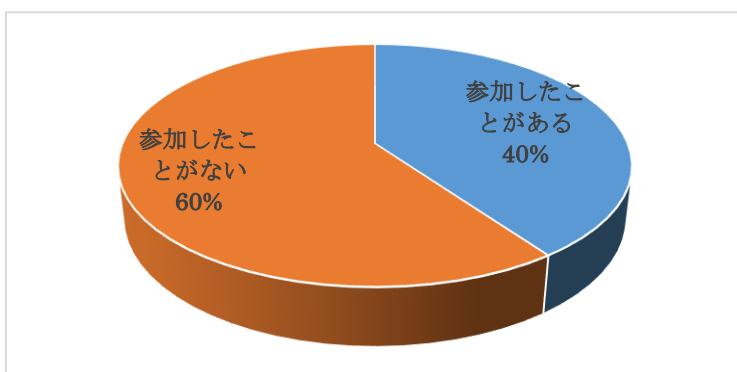


今後の地域志向型教育・研究への参加意向



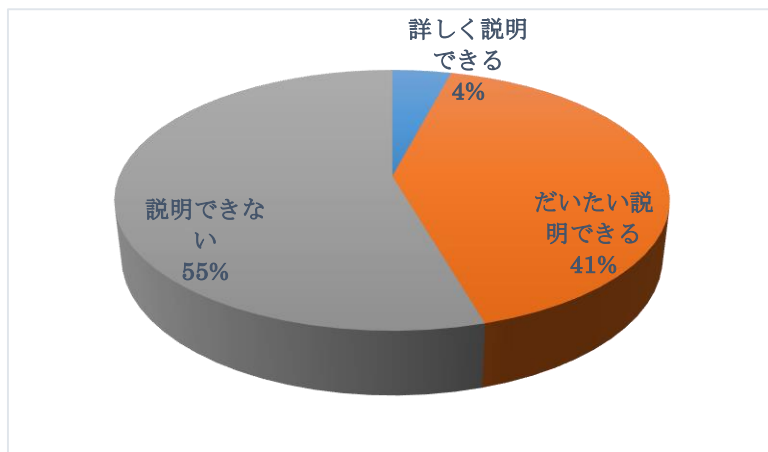
(3) FD/SD 関連事業への参加経験

- ・COC概要を説明した教授会@各学部
- ・みやだいCOC事業説明会（平成25年12月2日）@附属図書館
- ・みやだいCOC事業キックオフセミナー（平成26年2月3日）@シーガイア・コンベンションセンター



(4) 学生への説明可能性

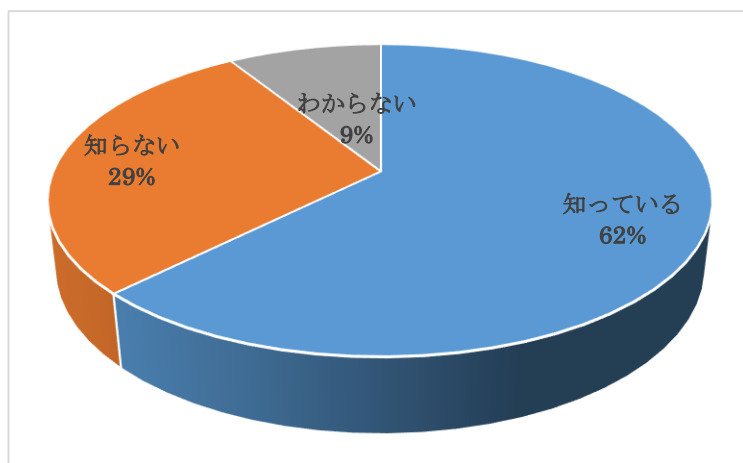
COC事業を学生に説明できる教員の割合



3-3. 職員アンケート

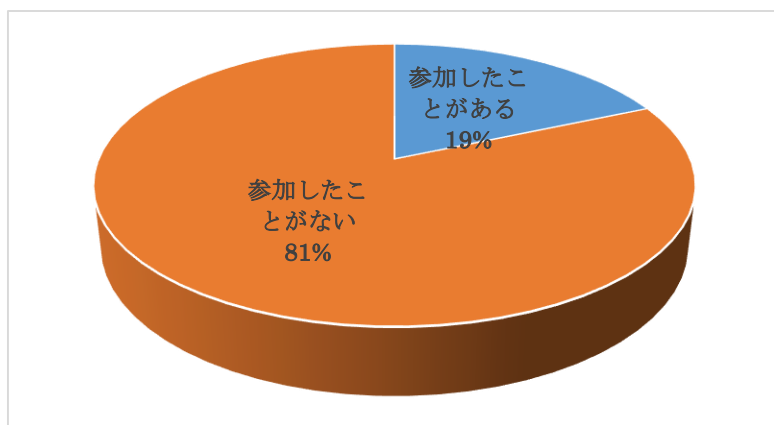
(1) みやだいCOC事業の認知度

職員のみやだいCOC事業の認知度



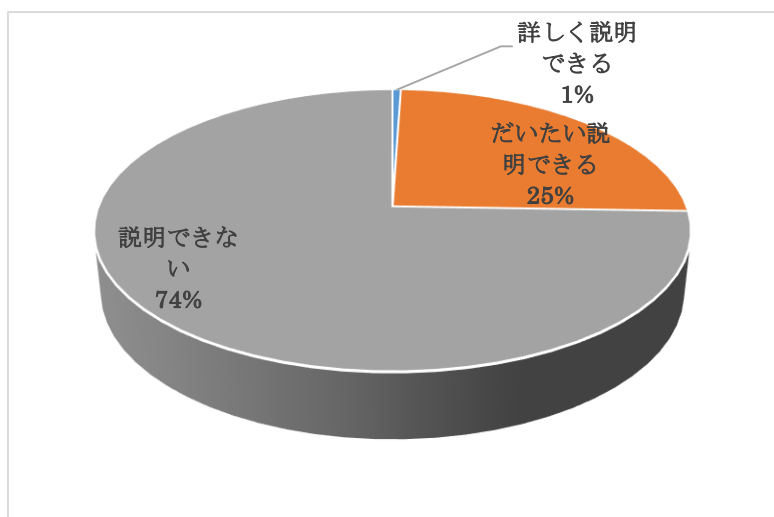
(2) FD/SD 関連事業への参加経験

- ・COC概要を説明した教授会@各学部
- ・みやだいCOC事業説明会（平成25年12月2日）@附属図書館
- ・みやだいCOC事業キックオフセミナー（平成26年2月3日）@シーガイア・コンベンションセンター



(3) 学生への説明可能性

学生への説明可能性（職員）



自治体アンケート

(1) 各連携自治体の「みやだいCOC事業」に対する満足度（自由記述）

・宮崎県

大いに満足

宮崎県では、本県の強みである豊富な農水産資源を生かした食関連産業の成長産業化を目指し、今年度新たに「フードビジネス振興構想」を策定し、県内の産学官金が連携したまさにオール宮崎でフードビジネス振興に取り組むことで、地域の雇用創出、産業振興を図ろうと取り組んでいるところである。宮崎大学、県、経済団体が緊密に連携して実施している本COC事業は、地域再生を支える次世代人材の育成はもとより、本県の食関連産業等が抱える諸課題の解決やイノベーションの創出に大いに寄与する事業であり、本県のフードビジネス推進をはじめとする諸施策における知の拠点として大学に期待する役割をまさに担っていただいているところであり、大いに満足している。

・日向市

大いに満足

・串間市

満足

平成25年度でのCOC事業における串間市との取組実績はないものの、COC事業に向けた丁寧なご説明やセミナーの開催を通して、26年度から本格的に事業提携できるものと期待しています。

・西都市

満足

「地域のための大学」として全学的に地域課題の解決、また地域再生・活性化に取り組んでいただけることは、自治体としても満足しているところであり、今後の展開に大いに期待しているところでもあります。

・えびの市

—

まだよくわからないため、満足・不満足というよりも当市としては大いに期待しているところです。

・五ヶ瀬町

大いに満足

これまで以上に地域=地元（宮崎）に密着した大学になる事業と考える。

(2) みやだいCOC事業に対する期待度、期待している点など

・宮崎県

大いに期待している

- ・ 学生に本県の魅力や課題を知って考える機会を提供し、職業観の育成や就職定着につながる教育の推進
- ・ 主体性、コミュニケーション能力、課題解決能力など、社会で必要とされる人材の育成につながる教育の推進
- ・ 食と健康に関する最先端の機能性分析技術を核とした、本県の農業・フードビジネス等の新たな可能性の開拓に向けた研究の推進
- ・ 日本の食の安全・安心と健康の増進を牽引していけるよう、関係機関との共同研究や交流による人材育成
- ・ 低年齢からの健全な食生活や食の安全性・重要性に対する県民意識の向上につながる公開講座等の実施
- ・ 資格取得といった、高齢者・女性の再就職や障がい者の就職につながる公開講座等の実施
- ・ 本県のグローバル化や海外展開に向けた留学生と地域との接点を増やす取組の実施

・日向市

大いに期待している

- ・ 本市における様々な課題解決や新たな発見により地域の振興がより一層推進される。
- ・ 大学のない本市にとって、大学の教授や学生等が本市で活動していただくことは、地域の活性化に繋がる。
- ・ 大学の持つ専門的知識を活用することができる。

・ 串間市

大いに期待している

串間市の基幹産業である農林水産業の発展は、本市の地域振興に欠かせないとても重要な分野です。

今回のCOC事業で、6次産業化をはじめ、防災、集落づくり、まちづくり、教育分野など大学と共同で解決したい課題について、真剣に取り組みたいと考えています。

そのうえで、地（知）の拠点である宮崎大学が、COC事業をきっかけに、本市にとって身近で頼れる存在であり、いつでも連携できる関係を構築したいと願っています。

そのためにも、学生、先生方、スタッフと串間市が「遠慮のいらぬ関係」で進めていきたいと思えます。

・ 西都市

大いに期待している

本市は総合計画において本市が持つ資源である「食」を通じて雇用の創出や地域の活性化を図り、市民や訪れる人々に癒やしと活力を与える「食」創生都市を目指しており、食の拠点整備や農産物のブランド化、6次産業化等に取り組んでいるところです。今後、「食」創生都市の実現のため「みやだいCOC事業」による連携により、大学が持っている研究分野としての機能の活用が図れるのではないかと期待しているところでもあります。

・ えびの市

大いに期待している

科学的なアプローチ、研究により、地域振興に役立つところです。

・ 五ヶ瀬町

大いに期待している

宮崎大学に蓄積された知見、また最先端の研究施設や技術が県内自治体の様々な課題の解決に活用させることで、宮崎県内全体の産業の振興や地域振興につながり、活性化の底上げができるものと大いに期待するところである。

以上